

主題：
キリストの豊富を享受して、キリストのからだである召会を建造する

メッセージ 11

復活し、昇天した、すべてを含むキリストは、
キリストのからだである召会を建造するためである

聖書：使徒 1:8. 2:32-33, 36. 4:10-12. 5:31. 13:32-39. 16:7

I. 使徒行伝に啓示されているように、わたしたちはすべてを含むキリストを経験し、享受し、増殖させる必要があります——1:1-3, 8。

II. 使徒行伝において啓示されたキリストは、復活の中にいます——3 節. 2:32. 3:15. 4:33 :

A. キリストは死を通して、別の領域、すなわち、復活の領域の中へと入りました：

1. キリストは破壊することのできない命を持った生けるお方であるので、死は彼をとどめておくことができません——ヘブル 7:16. 使徒 2:24。

2. 彼はご自身を死に渡しましたが、死は彼をとどめておく方法を持ちませんでした。それどころか、死は彼によって打ち破られ、彼は死から復活しました。

B. わたしたちは彼の復活の力と範囲と要素において、キリストを知る必要があります——ピリピ 3:10-11。

III. 使徒行伝において啓示されたキリストは、昇天の中にいます——1:9-11. 2:32. 5:31 :

A. 主の昇天は彼を新しい段階へともたらしました。それは、復活した人が、神の行政の中心として、天において生きるという段階です——啓 5:6 :

1. 復活した方は今や天で座しており、神の行政を執行しています——ヘブル 12:2。

2. 復活したキリストは昇天して、神によって高く上げられ、万物に対する王権、主権、頭首権を与えられました——ピリピ 2:9-11. エペソ 1:22。

3. 昇天したキリストはまた御座と栄光と宇宙におけるすべての権威を得ました——啓 5:6. ヘブル 1:3. 2:9. マタイ 28:18。

B. 昇天したキリストは万物の主であり、万物を所有しています——使徒 2:36 :

1. キリストの主権は、彼が昇天において得たものの中で最も重要な面の一つです——10:36。

2. キリストの主権は彼の昇天において完全に確立されたので、彼のからだの肢体たちであるわたしたちは、この天的な事実を認識する必要があります——エペソ 1:20-21。

C. 昇天したキリストは神の油塗られた方であり、福音の拡大と召会の建造を実行する神の使命を遂行します——使徒 1:8。

IV. 使徒行伝において啓示された、復活し昇天したキリストは、すべてを含むキリストです——3:14-15, 25-26. 4:10-12. 5:30-32. 7:56. 10:36, 39-43. 13:32-39. 16:6-7, 31. 17:30-31. 20:28 :

A. キリストは命の創始者です——3:14-15 :

1. 「創始者」と訳されたギリシャ語によって示されるように、キリストは命の起源または開始者です。彼は命の創始者また元首です——15 節。

2. 使徒行伝第 3 章で、わたしたちは命を他の人たちの中へと分け与えることを見ますが、それはキリストを増殖させることです。そのような増殖のために、わたしたちは命の創始者、命の源としての主を必要とします。

3. 命の創始者として、キリストは聖く、義なる方です——14 節。

B. キリストは神のしもべです——25-26 節：

1. 神は、復活と昇天を通して、彼のしもべであるイエスの栄光を現しました——13 節。
2. アブラハムの子孫、また神のしもべとしてのキリストの中で、地のすべての種族、すなわち、肌の色が異なるすべての人種と国籍の人々は祝福されます——25-26 節。
3. 神はペンテコステの日に、その靈を注ぐことによって、昇天した、祝福であるキリストを送り返しました——2:33. 3:13-15, 25-26。

C. キリストは隅の石です——4:10-12：

1. キリストは神の建造のための石です——イザヤ 28:16. ゼカリヤ 3:9. I ペテロ 2:4：
 - a. キリストにある神は肉体と成り、来て、神の宇宙的な住まいを建造するための石となりました。
 - b. 石であるキリストはユダヤ人指導者たちによって軽蔑され、拒絶されましたが、神によって復活させられて隅の石となりました——使徒 4:10-11。
2. わたしたちの救い主であるキリストが石であるという事実は、神の救いが神の建造のためであることを啓示しています——12 節：
 - a. この石は唯一の方であり、わたしたちはその方の中で救われることができます——11-12 節。
 - b. 彼は石・救い主であり、堅固で、強くて、信頼できます。

D. キリストは元首であり、救い主です——5:30-32。

1. 神は人なるイエスを最高の元首、キャプテン、諸王の支配者、また救い主として高く上げ、この世を支配し、また神の選びの民を救います——啓 1:5. 19:16. 使徒 5:31。
2. 「元首」は彼の権威と関係があり、「救い主」は彼の救いと関係があります。彼は権威を持ち、主権を持って地を支配しており、神の選びの民が救いを受けるのに適した環境となるようにしています——参照、17:26-27。

E. キリストは人の子です——7:56：

1. 使徒行伝第 7 章 56 節が啓示するのは、キリストが神の右に立っており、彼のために殉教した者にとって慰め、励まし、強さであるということです。
2. ステパノは人の子としての昇天したキリストを見ました。これが示しているのは、天にいるキリストが依然として人性を持っており、また依然として人の性質を所有しているということです。

F. キリストは万民の主（Lord of all）です——10:36：

1. 使徒行伝第 10 章 36 節の「万民（all）」とは、すべての人々を指します——I テモテ 2:4。
2. 昇天したキリストは、地上のさまざまな人種のあらゆる人々の主です。彼は人を偏り見ることはありません——啓 5:9。

G. キリストは裁き主です——使徒 10:39-43：

1. キリストは生きている者と死んだ者の裁き主として神によって定められました——42 節。
2. キリストはこの世を裁く人であって、それは義の中で神によって定められ、また神が彼を死人の中から復活させることによって証明されました——17:30-31。

H. キリストは神の長子です——13:32-39：

1. 彼は長子となるよう父祖たちに約束され、復活の中で神によって生まれた方です——32-33 節。
2. 神の長子として、彼はダビデのあの聖なる信実なものですが——34 節。
3. そのような方を通して、罪（複数）の赦しが宣べ伝えられており、彼を信じる人はすべて義とされます——39 節。

I. キリストは主イエスであり、信者たちの信仰の対象です——16-31 節：

1. 福音を信じることは、おもにイエス・キリストを信じることです——31 節。
2. 主イエスを信じることは、キリストのパーソンと彼が達成したすべての事柄の上に立つことであり、その両方が神の新約エコノミーの確信、信仰を構成します——I テモテ 1:4。

J. キリストは神です——使徒 20:28：

1. わたしたちの神であるキリストは召会を獲得する者であって、ご自身の血をもって召会を獲得しました——28 節。
2. 神は「ご自身の血」（28 節）、すなわち「御子イエスの血」をもって召会を確保し、獲得し、贖いました——I ヨハネ 1:7：
 - a. キリストは神・人として十字架上で死にましたが、そこにおいてわたしたちを贖うために流した血は人なるイエスの血であっただけでなく、神・人の血でもありました。
 - b. 神が召会を獲得するために用いた血は、ご自身の血でした。
 - c. 使徒行伝第 20 章 28 節が暗示するのは、イエスは召会を獲得する者としての神であり、ご自身の血をもって召会を獲得した方であるということです。

K. わたしたちは、聖霊であるイエスの霊として復活し昇天したキリストを経験し、享受するかもしれません——16:6-7：

1. キリストの霊がキリストの実際であるように、イエスの霊はイエスの実際です——ローマ 8:9.
使徒 16:7：
 - a. もしわたしたちがイエスの霊を持っていないなら、イエスはわたしたちにとって実際ではないでしょう。
 - b. イエスがわたしたちにとって実際であるのは、わたしたちがイエスの霊を実際として、イエスの実際化として持っているからです——7 節。
2. 「イエスの霊」は神の霊に関する特別な表現であり、肉体と成った救い主、すなわち、イエスとして、人性において人の生活と十字架の死を経過した方の霊を指します——ルカ 1:31, 35.
マタイ 1:21. 使徒 16:7：
 - a. イエスの霊には、神の神聖な要素があるだけでなく、イエスの人の要素や、人の生活と彼の死の苦しみの要素もあります。
 - b. イエスの霊は彼の中の神性を伴う神の霊であるだけでなく、彼の中の人性を伴う人なるイエスの霊もあります。それは、わたしたちが神聖な命を生きるためだけでなく、適切な人の生活を生き、その苦難に耐えるためでもあります。
 - c. 「このすべての成分によって、この霊はわたしの霊の中で運行しておられます。彼の塗り油を通して、わたしは主の豊富を享受します」（全訳詩歌 196 番、5 節）。